

児童青年期精神医学

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	3 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	4 人	

2 教員の異動状況

杉山 登志郎（特任教授）（H22.10.1～現職）

丸山 洋子（特任助教）（H26.4.1～現職）

吉川 久史（特任助教）（H26.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	3.53	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	12 編	(6 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 吉川久史,市川雅哉:眼球運動が否定的な記憶の鮮明さと感情の強さ、想起内容に及ぼす影響. EMDR研究, 6(1): 29-42, 2014. [IF 0]
 2. 吉川久史, 赤澤正人, 亀岡智美, 加藤寛: 東日本大震災復興支援で派遣された自治体職員のメンタルヘルスの調査.心的トラウマ研究, 10: 39-50, 2014. [IF 0]
インパクトファクターの小計 [0]
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)
1. (1) Egawa J, Watanabe Y, Wang C, Inoue E, Sugimoto A, Sugiyama T, Igeta H, Nunokawa A, Shibuya M, Kushima I, Orime N, Hayashi T, Okada T, Uno Y, Ozaki N, Someya T. Novel rare missense variations and risk of autism spectrum disorder: whole-exome sequencing in two families with affected siblings and a two-stage follow-up study in a Japanese population. PLoS One. 10(3) :e0119413. doi: 10.1371. 2015 [IF 3.534]
インパクトファクターの小計 [3.534]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 杉山 登志郎: 発達障害から発達凸凹へ,小児耳鼻咽喉科, 35(3), 179-184, 2014.[IF 0]
 2. 杉山 登志郎:発達障害ベストプラクティス-子どもから大人まで-, 精神科治療学, 29, 30-32, 2014, [IF 0]
 3. 鈴木 善統, 杉山 登志郎:【非行・犯罪とそだち】 非行の臨床 幼児期の素行障害), そだちの科学, 23, 58-63, 2014.[IF 0]
 4. 杉山 登志郎: 発達障害の理解(3) 発達障害研究の最前線】 発達障害研究の展望と意義 臨床から研究の発展に期待する, 臨床心理学, 14(3), 319-321, 2014.[IF 0]
 5. 山村 淳一, 内山 幹夫, 加藤 大典, 杉山 登志郎:【子ども臨床トピックス】 児童精神科臨床のトピックス 選択性緘黙への治療, そだちの科学, 22, 63-67, 2014.[IF 0]
 6. 杉山 登志郎:【子ども臨床トピックス】 児童精神科臨床のトピックス 発達障害への少量処方, そだちの科学, 22, 54-62, 2014.[IF 0]
 7. 杉山 登志郎:【自閉症スペクトラムの臨床】 発達障害研究, 36(1), 14-23, 2014
 8. 杉山 登志郎:【神経発達障害とは何か】 DSM-5 対応 神経発達障害のすべて, 14-19, 2014
 9. 杉山 登志郎:【子どもとその親への治療 1)薬物療法とトラウマ処理】 子どもの PTSD-診断と治療, 198-206, 2014
 10. 杉山 登志郎:【発達精神病理学のカー予防のための科学】 こころの科学, (181), 14-20, 2015

11. 丸山 洋子：書評 こころの病への発達論的アプローチ DIR モデルに基づいた理解と関わり，
小児の精神と神経第 54 巻第 4 号，アークメディア，東京都千代田区，2015.[IF 0]

12. 丸山 洋子：自閉スペクトラム症とトラウマ.[IF 0]

インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森 則夫，杉山登志郎，中村和彦：DSM-5 対応 神経発達障害のすべて，日本評論社，東京都，2014

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

4 特許等の出願状況

	平成 26 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 26 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	3 件	(160 万円)
(2) 厚生労働省科学研究費	2 件	(250 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	1 件	(50 万円)
(5) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 杉山登志郎（代表者）：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究C），自閉症スペクトラムにおける軸索走行異常とミクログリア活性化，平成 26 年度～平成 28 年度，130 万円（総額 250 万円）

2. 吉川久史（分担者）：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究C），自閉症スペクトラムにおける軸索走行異常とミクログリア活性化，平成 26 年度～平成 28 年度，15 万円

3. 吉川久史（分担者）：科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究C），EMDR の作用メカニズムに関する研究，平成 26 年度～平成 28 年度，15 万円、代表者 兵庫教育大学 教授 市井雅哉

(2) 厚生労働科学研究費

1. 杉山登志郎 (分担者) : 地域医療基盤開発推進研究事業, 被災後の子どものこころの支援に関する研究, 平成26年4月~平成27年3月, 分担者、200万円、代表者 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 総長 五十嵐隆
2. 杉山登志郎 (分担者) : 障害者対策総合研究開発研究事業, 発達障害を含む児童・思春期精神疾患の薬物治療ガイドライン作成と普及, 平成26年度~平成28年度, 50万円, 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座 教授 中村和彦

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

1. 吉川久史 (代表者) : 明治安田こころの健康財団第50回研究助成, 解離性障害を持つ児童への自我状態療法と EMDR の併用の効果判定, 平成26年~27年, 50万円

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	3件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	1件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	0件	5件
(6) 一般演題発表数	0件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

1. 杉山登志郎 : 第55回日本児童青年精神医学会総会, 2014年10月, 浜松市

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 杉山登志郎 : 発達障害から発達凸凹へ、第9回日本小児耳鼻咽喉科学会総会、特別講演、2014年6月、浜松市
2. 杉山登志郎 : 薬物療法 ; 少量処方のおすすめ、第55回日本児童青年精神医学会総会、2014年10月浜松市
3. 杉山登志郎 : 発達障害と子ども虐待との複合症例に対する EMDR を用いた簡易精神療法の試み、第55回日本児童青年精神医学会総会、2014年10月浜松市

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

- 杉山登志郎 : 第55回日本児童青年精神医学会総会、2014年10月、浜松市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

杉山登志郎：日本小児精神神経医学会 常務理事

杉山登志郎：日本乳幼児医学・心理学会 理事

杉山登志郎：日本発達障害学会 理事

杉山登志郎：日本トラウマティック・ストレス学会 理事

杉山登志郎：日本子どもの虐待防止学会 代議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成26年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成26年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道

1. 杉山登志郎：夏期特集「君が僕の息子について教えてくれたこと」，NHK 総合テレビ，2014年8月16日
2. 吉川久史：「浜松の2氏に研究費 明治安田健康財団が贈呈」，中日新聞，2014年8月29日